

当院は下記の研究に協力しています

日本産科婦人科学会 周産期登録事業および登録情報に基づく研究

研究の目的、意義

この研究では、日本産科婦人科学会会員が所属する施設で本事業の趣旨に賛同する登録加盟施設において、全出産例の母体情報、胎児情報および分娩周辺の関連医学情報を規定の登録フォームにコンピュータ入力し、収集された施設ごとのデータを日本産科婦人科学会が匿名化処理後に保存します。当院がこの事業に参加することにより、①当施設が総合周産期基幹病院としての使命としての本邦の周産期関連情報データベースに参加することにより学術的側面から周産期学の発展に寄与すること、②登録参加施設となることを通じて、本データベースを用いて学会あるいは他の研究者から報告される新たな知見を当施設における臨床研究および疫学的解析に役立てる手段が得られること、③登録参加により当施設の臨床研修施設認定、更新および研修活動が有利になることが期待されます。

研究の方法および結果

当院で出産される（妊娠22週以降）全ての妊婦さんを対象としており、それぞれの妊婦さんについて妊娠中の経過、分娩時の状況（出生児の週数、出生時体重、出生時の状況、その後の経過などを含む）について要約したデータベースを作成します。

最終結果は、年次報告として日本産科婦人科学会雑誌に毎年掲載されます。

※ 妊婦さんの氏名、生年月日など、本人を特定できる一切の個人情報
は調査対象ではなく、個人情報が公表されることはありません。

研究実施施設

日本産科婦人科学会の認定する、全国の分娩取り扱い施設

※ 参加医療施設は日本産科婦人科学会のホームページに掲載しております。

※当研究への参加を希望されない場合には、お手数ですが、主治医へご連絡ください。